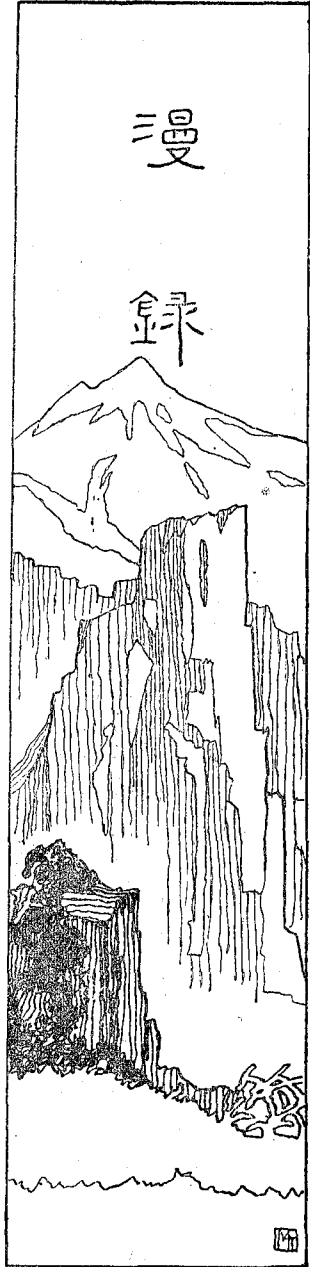


漫
録



道
路
の
述
懐

川上國三郎

同じ雪でも富士山頂に降れば不二峰千古の雪とか靈雪だとか云ふを眼に擦り付て隨喜の涙に咽んでおる。夫が雪隠にでも降ればどうだ、手に觸れるのも厭だろう。然るに降程「ウオークダン」より云へば富士山の雪よりも却て遙かに雪隠の雪の方が多し、斯の如き世相は到る處にごろく

して居る。人間と云ふ奴は没曉漢が多い、人は場所を得ないと逆も駄目だ一生枕が上らない、我等道路にしても其の通りである。同じ道路でも東京邊りになると大したもの、スピート臭をした「アスファルト」だ「コンクリート」だ「ソリヂット」などを以て體を固め、中には其の真中に

花園を造つて洒落して居る、實に豪氣のものだ。

處が俺等の様に地方府縣の道路にでもなつたが最後、一生浮びつこない。一里當三百圓から五百圓位の御手當で一箇年中働かねばならないとは呆れるじやないか。まあ積つても見給へ、年一坪七錢から拾壹貳錢にしきや當らない。

「バット」一つか「チェリー」一個で一年辛棒しろと土木課長がこきやがる、でつ一杯にも當らないじやないか。是でなんで我等府縣道の體面を保ち得るか、随分頭が悪い、たまには來て我輩道路の苦んで居る所を見るがよい、夫でも毎年「バット」一つ丈でも行きわたれば未だしもだが中には損傷だ大破損だと云ふので「バラス」は大部分其の方に廻はされてしまつて、一度「バラス」を貰つた日にや七八年間は廻つて來ない、たまに修路工夫が耳芝の土を以て我輩の痘痕を埋めて呉れるのみだ、此の間山の方の道路に久し振りに會つたら、こぼすわく、道路法が出來て我輩も多年の宿望を達し縣道と云ふ資格を貰つたので僕の祝榮會を兼て沿道の間達も縣道編入祝賀會をやつた。自分も

眞から嬉しかった、處が夫も束の間で今迄村道時代にはちよいく來 見て呉れた村人もぱつたり見えなくなつた、損傷が出來てたまらないから村長さんに御願ひしたらお前は今迄と違つて縣道と云ふ立派なものになつたのだから縣に見て貰へ、縣と云ふ大家の息子になつたのだと突き放されて後未だ「バラス」なんてものは拜んだことがない大家の大家族の末子になるよりも、日傭取りの獨息子の方が餘程幸福だと思ふて居るが君の方はどうだと、つくづく悲觀して居つた。一體今の土木課長てのが氣が利かないんだ、此の間も自動車に乗つて來て精一杯働ひて居る我等道路を見て、こんな事では維持がなつて居らんとか「バラス」の敷方がまづいとかが管理が悪いとか散々小言をぬかしにおいて、我輩の働き疲れて腸の出かかつた所を「ステツキ」でこつこつ突つき、しまいには靴で踏んだり蹴飛ばして置いて眼鏡越に隨て來た役人を叱つて居るじやないか、僕は腹が立つて仕方がないんだ、所が又意氣地がないや其の案内した所長とか主任とか云ふ先生帽子を取つて申譯を云

つて居る、遂に俺も我慢がし切れなくなつて啖呵を切つたんだ。

「課長！ ソーエラソーニ所長や僕等を叱るのはよしね、是でも指定の兄いだ、郡廢や開發組とは違んだ一體君は我々縣道の生立を知つてか、又知らずてか？ 憚り乍ら我等は東京あたりの成上りの焼太りとは、ちと質が違つて権現様時代からの由緒正しい道路なんだ、自動車だ「トラック」だなんて油臭ひものを走せる様に體の都合がいや構造が出来て居らないんだ、お氣の毒だか構造令なんてものに當てはまる様な獯猛のものは一つもない、皆優にやさしく出来上つて居るんだ、君は知るまいが、馬や牛ですらも皆薬靴をはかせてそろ／＼のしん／＼と歩くのに相應しく出来て居るんだ、其れをも知らずにお斷りなしに自動車を走らせやがつて「スピード」時代もないものだ、自動車を走らせるなら走らせる様にして通れ、僕の體力相應に薬靴で歩かして見ろ、俺だつて斯様に傷みやしねえ、夫も二三年前迄は上流れた、災害復舊つて様な臨時手當もあつたが、

近頃じや緊縮だ蜂の頭だとかで、一度だつて臨時手當なんかありやしない、四五年前迄は自動車が六百五十臺しか無かつたものが、今じや三千臺以上だと云ふことだ此は保安課の大將にきいたから嘘じやあるまい、どつかの道路が言つてたぜ、

「バット」一つで一ケ年、自動車五年で五六倍、おまけに臨時はお廢しよ、これで體が持つものかツ」て様なことを」

そしたら課長も氣がついたか、悪かつたと思ふたか、自動車に乗りがけに

「修繕費が少いので氣の毒だが精々勉強してやつて呉れ給へ、半年許り前に出した災害復舊の起債認可も内務省を離れて大藏省に廻つて居るから不日認可になる筈だ、そすれば臨時手當も出來ると云ふもの、まあ一時の辛棒だから」と出た、

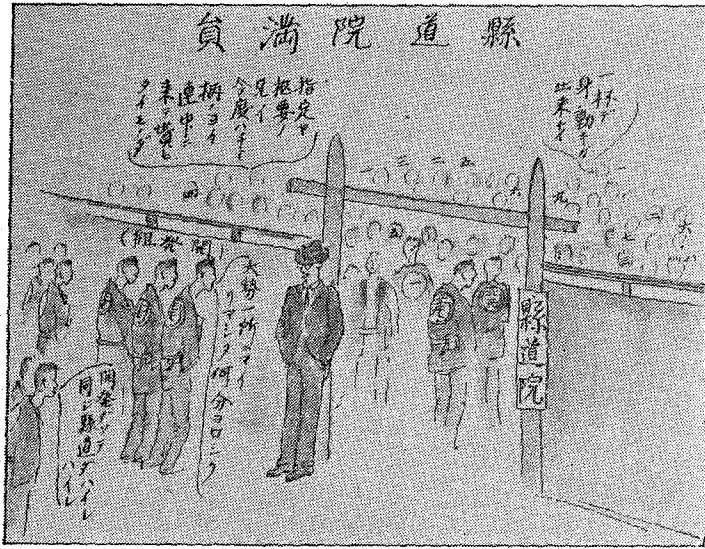
そー大人敷言はれて見れば無理も云へない、縣財政の都合とあれば致方がないが誠に氣の長いことだ。

其れよりも我輩の我慢の出来ないことがあるんだ、兼ね兼ね云はうと思つて居つたから腹立ち紛れに云ふてしまふ一體市内の道路占用に伴ふ工事の有様は、ありやなんだ、此の間のこと我輩のどてん腹を鶴嘴や玄翁で風穴を明ける奴があるじやないか、餘り腹が立つから怒鳴ると、水道擴張工事の鐵管伏替だと云ふんだ、水道とあつては衛生、火防は兎も角も我輩等だつて夏には撒水の御厄介になるから許して置いたら一箇月も経つか經たぬ云はば水道傷が癒らない内に遠慮會釋もなく、其のかさぶたを搔き起す者があゝる、下水道の改築とか云ふんだ其れが濟んで二三週間も經たぬ中に向ふ側を掘り返す奴がある、今度は工夫の印半天で遞信省の地下線工事だと云ふことが判つた、威勢のいいこと夥しい、其れが風邪でも引くかと思ふ程長かかかるじやないか、やれ〜と思ふと瓦斯會社の連中がこそこそやつて來て又候なにかかんとか理屈を付けて増設をやりだした、一年の中に二度も三度も同じ處を掘り返されちや如何に無神經の道路でも我慢が出来ない。

人間と云ふ奴は口にこそ大かい事をぬかすがやらして見ればから臺なしだ、だらしのないこと夥しい、何が統制だ、何が合理化だ、目先きの利かないにも程がある。人間程統制のない勝手のものはない、道路の管理の直接任に當つて居る土木課長が矢張りだらしが無いんだらう、丸で道路をば失業救濟場とばかり心得ておる、一箇年に起るべき事業は大體其の前年度に於て判つて居るじやないか、之を各占用者と協議打合せをなし、可成統一して同時にやる様にするればこんな不様の展開はない筈だ、此の様な占用工事は、セ、ン、ヤウにして貰ひたいと道路の中にしやちかばつて通行人のいつも邪魔をして居る警電の電柱ですら笑ふて居るぜ。

道路の延長は文明の尺度とでも思ふておるのか將又縣道の長短は縣勢消長の「パロメーター」とでも思ふたのか縣道の總延長につき我縣は五百里、我縣は千里と自慢しておる、勿論我輩等道路の連中も仲間の殖えるのは決して否とは云はぬが我等の仲間として他人様に紹介しにくいもの云はば仲間の面汚しと云ふものも随分で、遂には仲間の平和

を害する様なことが度々ある、そこへ持つて来て例の「バ



ット」一つか二つの御手當では「……六連中も面目問題だ

漫 録

と、郡慶連の這入つて来た當時でも随分嫌な思ひをした。處が昨今開發組の殖えること、其の癖此の連中中々八ヶ釜敷屋で面倒な理屈屋許りで、しかも皆揃ひも揃つて旦那持と来ておる。又其の旦那さんがお女郎買の糠味噌汁で「バット」一つすらも値切らうと云ふんだから全くやりきれない。

一……六組の氣骨のある連中は縣道院の面目問題だ、何とかせなければならぬと、寄り／＼話をして居つた。

以上は予が道路より直接聞いた述懐である。孔夫子も人の心の歩むべき道には苦しみぬき、又これに終始した。今自分分は人間や自動車の歩むべき道の維持管理の最前線に立ちて心と車との相違こそあれ、同じく道に苦しみ、つくづく孔子に同情した。